



朝倉 智仁
(あさくら ともひと)
取手第一高等学校2年生
自転車競技部所属

多田 れおん
(ただ れおん)
取手第一高等学校1年生
自転車競技部所属

「記録がどんどん伸びるのが嬉しい。」

今号は、取手第一高等学校自転車競技部に所属する、つくば市出身のお二人にお話を伺いました。自転車競技に日々没頭する若きレーサーの情熱に迫ります。

—自転車競技を始めたきっかけは？

朝倉 お父さんが競輪が好きで、その影響で自転車を始めることになりました。

多田 自分は、親の知り合いから競技用の自転車を突然いただいて・・・自転車かっこいいなあって思ってた。それからどんどん好きになっていきました。

—自転車競技を始めて、一番嬉しかったことは？

朝倉 今年の夏に、JOCジュニアオリンピックカップ（将来のオリンピック選手育成を目的として行われる大会）で優勝したことが一番嬉しかったです。

多田 僕は、ちょっと前の話になっちゃうんですけど、中2の冬に、全国大会への出場が懸かった関東予選で優勝できたことが嬉しかったです。

—では逆に、今まで競技を続けてきて、辛かったこと・悩んだりしたことは？

朝倉 高校1年のときは練習すればするほど、記録が伸びていったんですが、2年生になってからは全然タイムが伸びなくなり、凄く悩みました。

—だけど夏にはジュニアオリンピックで優勝した。その悩みをどうやって乗り越えたのでしょうか。

朝倉 いろんな先輩や先生方に話を聞きました。弱気にならず、自分から何でも積極的に取り組んだことで乗り切れたと思います。

—では改めて、自転車競技の楽しさは？

多田 やっぱり、自転車競技はは観ても凄く迫力があってめちゃくちゃ面白いし、やっても練習すればどんどん記録が向上していくので、そういうところが楽しいですね。

朝倉 練習は凄く地味だし、辛いんですけど、その分、小さな大会でも大きな大会でも1位になったときの喜びっていうのは、他のどのスポーツにもないものだと思っています。

—将来の夢は？

朝倉 競輪選手になることです。母校の先輩でもある横山尚則先輩や吉田拓矢先輩のようにしっかりレースで勝ち上がっていきたいと思います。

多田 自分もプロになって、オリンピックで優勝したいです。

—素晴らしい夢ですね。そんなお二人は、今年の秋に国体を控えているということですが、それに向けての意気込みをお願いします。

します。

朝倉 今年の夏にジュニアオリンピックで優勝ができ、今波に乗っていると思うので、この調子で国体でも活躍できるようにがんばりたいと思います！

多田 自分は、初めての国体なので、慣れないことも多いと思いますが、茨城県のためにがんばります！



練習中の取手一校自転車競技部の選手たち